「ビキニの海のねがい」 読者ニュース No.1



2024.08.15 「ビキニの海のねがい」を本にする会

ビキ二事件」の記憶を伝える本が出版

高知市で報告会

NHKNewsWeb 2024年04月01日 より

アメリカが太平洋のビキニ環礁で行った水爆実験で高知県の漁船などが被ばくした、いわゆる「ビキニ 事件」の記憶を伝える本が出版され、1日、高知市で報告会が行われました。

70年前の1954年、アメリカが行ったマーシャル諸島ビキニ環礁での水爆実験に巻き込まれて、静岡県のマグロ漁船「第五福竜丸」や高知県の漁船の乗組員などが被ばくし、「ビキニ事件」と呼ばれています。

高知県内の元教員らで作るグループが、この事件の記憶を伝える本、「ビキニの海のねがい」を先月出版 し、1日、高知市内で報告会を行いました。

この中でグループの副代表の森田敏恵さんは「核のない世界を実現したいという思いを込めて作りました。苦労はありましたが出版して良かったです」と述べました。

本は、海外の人たちにも知ってもらえるよう本文の英訳を添えているほか、事件に関する資料も掲載していて高知県内の一部の書店や高知市の出版社「南の風社」のホームページからも注文できます。

また、各市町村の図書館や、 県内すべての小中学校と特別 支援学校に寄贈する予定だと いうことです。

グループの森田さんは「この本を通してビキニ事件が広島や長崎とひと続きで起きた核兵器の出来事であることを知ってほしいし、核兵器とは何かを一人ひとりに考えてほしい」と話していました。



出版から5か月、多くの感想をいただきました

「実験」は「投下」と同じ

本当に素晴らしい本でした。絵本の部分は、素朴な絵の持つ力強さに引き込まれて読み進んでいましたが、後半の文章に、この絵本が作られた意味を、みなさんで文字に表した、とても貴重な資料が加えられていました。

先日の広島長崎の平和式典で、特に、長崎で「原爆投下を長崎で終わりにしてもらいたい」との話をしていましたが、とんでもないことです。マーシャル諸島は、67回も水爆実験が行われた。「実験」は「投下」と同じと講演で言っていたアーサー・ビナード氏の言葉を思い出しました。

1914年の日本のマーシャル諸島占領から、原爆投下、原子力開発、冷戦、東日本大震災、ウクライナ情勢までをきちっと流れとしてもらえ、示したことや、あとがきに代えてまで、この絵本制作を携わった方々の、誠実な仕事と熱意を感じました。

本当に、このような本を私たちに作っていただきありがとうとご苦労様の気持ちでいっぱいです。八丈に帰りましたら、組合の友だちに見せ、貸して、話し合いたいと思いました。

ありがとうございました。(2024.08.10)



図書館巡り

早速図書館巡りをしました。いのは分館を含め2冊、日高、佐川、越知町、

仁淀川町計6冊寄贈しました。どこもとても喜んでくれました。いのは問い合わせも何件かあったので購入しようと思ってたところでしたといってくれました。日高は夏休み等平和学習で使いたいと。越智はテレビで見てすぐに金高堂に問い合わせたけどまだ出てなくて、残念に思ってたところだった。すごく嬉しいと握手までしてくれました(笑)福竜丸しか知らなかったので、とゴジラの話やオッペンハイマーの話やら大盛り上がりでした。気分をよくして今仁淀川町にいます。ここも受け取ってくれました。やはり、報道されたこと大きいですね。(2024.04.20)

「ビキニの海のねがい」増刷のお知ら

2024年3月1日に発刊された「ビキニの海のねがい」は、おかげさまで多くの方から好評の声をいただき、7月末に在庫切れとなりました。多くは口伝えでの販売であり、今後どうすべきかいろいろと悩んだと

ころです。これ以上増し刷りをして、在庫を抱えたらどうしようとか、悩み深いものがありました。しかしながら、購入希望の声が続いているということもあり、「南の風」社さんが増刷に踏み切ってくれることになりまた。 現在、追加予約を受け付け中です。周りの方々にお勧め下さるようにお願いします。

